

# 一橋大学指定国立大学法人構想工程表【簡略版】

# 日本の社会科学の改革を牽引する拠点形成

戦略①  
研究力強化のための  
選択と集中

戦略②  
国際水準の研究者  
集団の確立

戦略③  
研究成果の教育と  
社会への還元

戦略④  
改革を支える  
財務基盤強化

戦略⑤  
ガバナンスの強化

戦略⑥  
多様な教育・学問  
分野の充実

戦略⑦  
日本の社会科学系大学  
・学部への波及効果

中期計画期間

年度

～2018

指定

2019

2020

～第3期

2021

第4期～

2022

5年目

2023

10年目

2028～

第5期～

## 戦略① 研究力強化のための選択と集中

### 【ガバナンスの強化】

※経済学、経営学、会計学・ファイナンス、政治学・国際関係学、心理学、データサイエンス、グローバル・ロー

学長のリーダーシップに基づく戦略  
的重点化領域の選定

戦略的重点化  
領域選定※

若手研究者採用  
国際的業績による研究者採用

重点化領域等  
新規採用

新規採用  
国際基準の採用  
ポリシーの徹底

英文業績数  
300本

## 戦略②: 国際水準の研究者集団の確立

### 【研究力強化、国際協働】

社会科学高等研究院の強化  
分野横断的な研究体制によるシナ  
ジー効果

各種研究センター設立

国際カンファレンス等開催  
著名研究者招聘、ポスドク採用  
海外大学との共同研究等

プロジェクト  
評価

新研究プロ  
ジェクト発足

新規採用  
(累計)60名

## 戦略③: 研究成果の教育と社会への還元

### ～Global Captains of Industryの育成～ 【人材育成・獲得、国際協働、社会との連携】

【学士課程】  
グローバル教育の展開

国際連携  
強化

国際的アクティブ・ラーニング・プログラム等の実施  
デュアル・ゼミナール制の導入

グローバル・アク  
ティブ・ラーニング  
受講者累計450名

PDCA

英語専門科目  
200科目

【学士課程】  
文理共創によるデータ・サイエンス  
教育

産総研  
包括連携

研究センター設立

データ・デザイン・プログ  
ラム開設

受講者累計150名

ソーシャル・データサイエンス学部・研究科(仮称)の創設

【博士課程】  
若手研究者の育成

国際共同研究・研究活動のOJT・学資支援(RA・TA雇用等)

【プロフェッショナル教育(修士～  
博士課程)]修士課程レベル

研究科  
再編

ビジネススクール等  
プログラム充実等

AACSB  
取得

PDCA、ダブルディグリープログラム等  
の教育充実、実務家教員の充実

ビジネススクール入学定員  
250人(2029年度)  
500人(2039年度)

【プロフェッショナル教育(修士～  
博士課程)]修士課程レベル

研究科  
再編

ロースクール、IPP等  
プログラム充実等

PDCA、教育プログラム拡充、実務家教員の充実等

【博士課程】博士課程レベル

産総研包  
括連携等

EBPM博士課程プログラム開設  
イノベーション・マネジメント・プログラム開設

PDCA

【社会人教育】エグゼクティブ向け等  
教育プログラムの拡充・開発

シニア・エグゼクティブ・プログラム等  
の充実

新規プログラム等の開設

PDCA  
社会需要に応じた  
新プログラムの開発

受講後5年以内の役員  
就任率66%以上

中期計画期間	指定	～第3期	第4期～	5年目	10年目	第5期～	
年度	～2018	2019	2020	2021	2022	2023	2028～

**戦略④：改革を支える財務基盤強化** 【財務基盤強化、社会との連携】

一橋大学基金	専任ファンドレイザーによる寄附拡充	寄附金収入の増加				累計寄付額 150億円	増収総額 10億円 (2029年度) 20億円 (2039年度)
受託研究等の拡大	産総研、帝国データバンク等との連携に基づく協働、文理共創、受託研究の拡大						
一橋講堂、資産の収益	一橋講堂収益の増加			資産の収益化			
エグゼクティブプログラム	エグゼクティブプログラムの充実		プログラムの新規開設、検証、拡充				

**戦略⑤：ガバナンスの強化** 【ガバナンスの強化】

大学経営管理人材の育成	大学経営管理人材育成プログラム構築	学部水準のサーティフィケート・プログラム	修士プログラムへと発展	修了者数 35名
-------------	-------------------	----------------------	-------------	-------------

**戦略⑥：多様な教育・学問分野の充実** 【研究力強化、人材育成・獲得】

基礎研究、戦略的重点化領域以外の充実	法学分野、ロースクールの教員新規採用			基礎研究分野の充実
--------------------	--------------------	--	--	-----------

**戦略⑦：日本の社会科学系大学・学部への波及効果** 【研究力強化、人材育成・獲得、社会との連携】

社会科学の発展を考える円卓会議	円卓会議開催、情報発信、改革の検証				
データインフラ共同研究等共同研究ネットワーク構築	長期経済統計、民間企業との連携共同研究の促進	データインフラ共同研究等研究成果の発信	世界屈指の研究拠点へ		
国内外の大学院への波及効果	国内外の大学院生への研究プロジェクトへの参画、データインフラに基づく実証研究のOJT機会提供				累計雇用者数110名



社会科学分野におけるQS世界大学ランキング  
10年間で30位以内を、20年間で10位以内を目指す。  
経済学、経営学、会計学・ファイナンス、政治学・国際関係学の個別分野において10年間で30位以内を達成する。

**日本の社会科学の改革を牽引する  
拠点形成へ**

- (1)世界が直面する社会課題解決への貢献
- (2)科学技術の社会実装への貢献
- (3)経済活性化と政策立案への貢献